
大事なもの

さっちゃん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大事なもの

【Nコード】

N3090E

【作者名】

さっちゃん

【あらすじ】

大事なものを奪われてしまった一人の女性。一人の女性はどうな行動にでるのか。

（前書き）

誤字などありましたらすみません。最後までお読み頂ければ幸いです。

あなたには大事なものはありますか。

大事なものはお金で買えますか。

大事なものはあなたにとってなんですか。

もしその大事なものを失う事を考えた事がありますか。

よく考えてみて下さい。

ではその大事なものが奪われたらどうしますか。

私は普通の平凡な大学生。

私には彼氏がいた。

その彼氏を親友だと思っていたアイツに取られた。

悲しかった。

辛かった。

悔しかった。

別に本気で好きなわけでもないかったから男はアイツあげた。
アイツは私に会う度に言い訳する。

アイツは男の事しか謝らない。

大事なものを奪ったのに。

男なんてどうでもよかった。

アイツは気づいてくれない。

私は大事なものを返して欲しかった。
ただどアイツは返してくれそうにない。
返してくれないなら奪うしかない。
やっぱり奪って取り返すしかない。
アイツも分かってくれるだろう。私は大事なものを取り返す事にした。

アイツはなにも知らずに私の家に来る。
私は大事なものを取り返す為に必要な物を用意した。
私は必要な物を左手と右手に持ってアイツを待った。
何も知らずにアイツはやって来た。
部屋に入ってきたアイツに大事なものを取り返す為右手に持った物を使った。
アイツはピクピク痙攣し泡を吹いている。

「ゆみこ大事なものを返してもらうからね」
優しい笑みを浮かべ左手の物で大事なものはを取り返した。

部屋には左手に包丁、右手に心臓を持った私と血まみれのゆみこが横たわっている。
私はゆみこに裏切られた。だから気持ちを返した。気持ちとは心だろう。だから心臓を取った。

だが大事な人を自分で無くしてしまった。
私はそんな自分から大事な人を取り返す為ベランダから飛び降りた。
鈍い音がし、私は全部を取り返した。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3090e/>

大事なもの

2010年12月31日02時12分発行